

「わたしの理想の環境と実現に向けてできること！」

「ミライカフェ 2023 Vol.8(函館開催)」開催報告

1. はじめに

道南技術士委員会では、地域の担い手確保、函館を中心とする道南圏で活躍する若手技術者のフォローアップ研修などを目的に継続的に取り組みを行っております。本報告では、著者が「技術者のミライ研究委員会」(通称、ミライ研)でも活動させていただいているご縁で、「ミライカフェ」の函館開催を申し入れた所、ミライ研幹事の方々にご賛同いただき、函館会場と札幌会場をオンラインでつなぎ、ワークショップ形式の研修会を開催することができましたことから、報告いたします。

2. 実施概要

開催日時：2023年(令和5年)9月30日(土)

14:30～16:30

開催場所：函館会場 亀田交流プラザ 大会議室
札幌会場 北電総合設計(株) 会議室

3. ミライカフェの目的と本研修会のテーマ

(1) ミライカフェの目的

ミライの技術士(技術者)がいきいきと働ける環境づくりに向けて、継続的に話し合う場を設け、考え方の共有や意識啓発を図るとともに、そこで得た知見や考え方などを成果としてとりまとめ、広く普及を図る。

カフェのようにリラックスし、休憩時間に少しまじめな話で盛り上がるような雰囲気とする。

(2) 本研修会のテーマ

「わたしの理想の環境と実現に向けてできること」

■グループで話し合い

- ・どのくらい現状に満足しているか？
- ・自分が望む理想の働く環境は？
- ・理想をかなえるために、一番の阻害要素は？
- ・理想を実現するために、自分でできること、変えられることは？

4. ミライカフェ Vol.8 の様子

(1) カフェの開店準備

今回のミライカフェの参加者は、函館会場で28名、札幌会場で13名、合計41名もの参加希望を頂きました。この内、函館会場で2名の運営サポーターと札幌会場の1名の運営サポーターを除く38名を4つのテーブルに分割して各テーブルでテーマに沿って議論を重ね、テーブルでとりまとめた内容を全体で共有するワークショップ形式で行いました。

グループの構成は、メンバーが自由に思った事を発言でき、新たな気づき生まれやすいように、参加者の所属団体、企業内職制の序列関係やメンバーの年齢が偏らないように良く考えた上で編成を考えました。



図-1 ミライカフェ案内配布資料

また、4つのテーブルにはそれぞれノートPCを配置して、札幌会場の4つのテーブルと接続することで、遠隔地間のハンディキャップを解消しました。



図-2 会場の様子



図-3 オンライン接続画面

第7回のミライカフェ(札幌開催)にオンラインで道南から、著者と原田技術士が参加して、ミライカフェのつくりを勉強させていただき、函館会場においても模倣して、少々のお菓子や飲み物を準備しました。ところが、当日両会場を接続した際に、札幌会場のおやつがケーキだった事から、終了後に今後の改善点として、しっかりご要望がありました。

(2) 話合いの内容

若手技術者からの意見としては、残業時間の改善に関する意見が多く、理想の働き方(環境)としては、「残業時間を減らし、プライベートの時間を増やして、かつ勤務時間内で自分達の技術向上を図りたい。」と希望が明確化されていました。

一方で、「上司からの指示で作成した資料を作り直されてしまい、なぜそうなったのか、考え方を教えて欲しい。」という希望意見も上がりました。

これに対して、ベテラン技術者からは、時短の為に、「知らない事は、知っている人の知恵を使って作業することで、効率化が図られる。」また、「作成物の

手直しは、作業効率や、その場のケース次第で直接修正を行う場合がありますが、上司側は、話を聞きに来てくれる事は嬉しい。」といった回答がありました。多様な意見として著者が着目した点として中堅技術者から、「ワークライフバランスを保ちつつ成長するために、情報収集が効率的な環境を作り短時間で知識の吸収をしたい。」という理想に対して、「情報収集があまりに容易に出来る環境では、自ら収集しなくなってしまう。」という反論もありました。

著者は、情報は、逐次更新されるものである前提のもと、中長期に渡り不変な情報と短期間で更新される情報とにカテゴライズした上で、短期間で更新される情報については、各々が収集する過程で知識を養うといったバランス感が良いかとも考えました。

(3) アンケート結果

本研修に参加頂いた、函館会場の技術者に対して後日アンケートを実施しました。参加者の年齢層としては20代、30代、40代以上のそれぞれが30%程度であり、理想的な配分でありました。また、参加の感想として、「楽しかった82%」、「普通だった14%」、「あまり楽しくなかった4%」と高い評価が得られました。個人の感想や気づきとしましては、「自分以外の職場環境の話が聞くことができ、自分の働き方を見つめ直す良い機会だった。また参加したい。」、「意見の違いを知るために、自然とコミュニケーションが取れるような人になりたいと思いました。」、「子育てする女性の仕事と家庭の両立に対して、札幌参加者からの[自分に与えられている時間は限りがある。WLBを考えるうえで個人の優先順位を決めて、周りに手伝ってもらえるものは協力してもらい、仕事を進めることが重要では。]との話に納得できた。」と開催して良かったと思える感想を頂きました。

5. おわりに

今回、休日を返上して参加頂いた参加者の方々と、函館開催を熱烈にバックアップして頂いた北海道本部ミライ研委員の方々には、心より御礼申し上げます。技術士のネットワークは素晴らしいものだと言え、次回には函館単独でもミライカフェを開催できるよう活動を継続して行きます。